

# あらかわ 区議会だより

No.251

新年号

平成31年1月1日



議長 若林 清子

## 新年のごあいさつ



副議長 吉田 詠子



あけましておめでとうございます。

区民の皆様には、新春をお健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、平昌で開催された冬季オリンピック・パラリンピック競技大会やロシアで開催されたサッカーワールドカップで日本選手が活躍し、2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会へ向け、日本中が大いに盛り上がる1年となりました。荒川区でも、国家戦略特区制度を活用した公園内学童クラブの開設や、開館1周年を迎えた「ゆいの森あらかわ」への来館者が8月に100万人を突破する等、嬉しい出来事が数多くありました。

区議会においても、荒川区の先駆的な取り組みに多くの議会からの視察を受け入れ、来訪した議会と交流を図ると共に、自治体が抱える様々な課題について意見を交わしました。今後も、こうした取り組みを通して、住民の安心した生活を守るため、互いに教え学び合う関係を築いてまいりたいと考えています。

本年も区議会といたしましては、区民の皆様の声を受け止めながら積極的な政策提言を行い、区政全般にわたる数多くの課題の解決を図ってまいります。

結びに、区民の皆様にとって本年が幸多い年となりますようお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。



# 各会派新年の抱負



## 自由民主党

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

本年は、「平成」の時代から新たな時代へ移行する節目の年であります。荒川区のこの30年を振り返ってみますと、人口は約2万9千人増加して21万6千人となり、一般会計当初予算額も約55%増の995億円規模となっています。この間、先進的な取り組みを行いつつ、各種行政サービスの充実を図り、荒川区政は、今や全国的にも高い評価を得るまでになっています。これまで区政を支えてきた私たち自由民主党荒川区議会議員団としても、とても誇らしく思っております。

昨年、我が党主導の下で、長年の悲願であった手話言語条例の制定や、民泊関連条例の制定、酷暑緊急対策としての高齢者世帯等へのエアコン設置費用助成の実施、小中学校の体育館のエアコン設置の推進等、区民の皆様が真に必要な政策を実現してまいりました。

一方で、全国的に頻発している自然災害への対応や、学校、福祉施設を始めとする施設・インフラの老朽化対策、子どもの健やかな成長を支える

区立児童相談所の設置、東京女子医科大学東医療センター移転後の病院誘致等、区政には極めて重い課題が山積しています。これらの課題を的確に解決していくためには、区民生活に最も身近な存在である区及び区議会が、区民の皆様の声にしっかりと耳を傾け、創意工夫を重ね、全力を挙げて取り組んでいく必要があります。

私たち自由民主党荒川区議会議員団13名は、このような認識の下、292項目にわたる平成31年度予算要望書を西川太一郎区長に提出しました。本年も、区民生活の一層の向上と安心して暮らし続けることができる地域づくりに向け、全力を尽くしてまいります。



▲手話教室の様子

## 公明党

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、日頃より区民の皆様から寄せられる声を取りまとめたローカルマニフェスト「あらかわ公明ボイス123」を西川太一郎区長へ提出し、区政における政策提言させていただきました。これは4年に1度、私たちの政策とその実績を明確にする取り組みの一環であり、これまで提出した「あらかわ公明ビジョン100」「あらかわ公明アクション111」もそれぞれ掲げた項目の89%、92%を実現することができています。

そして、この取り組みが日本最大の政策コンテスト・マニフェスト大賞において高く評価され、優秀マニフェスト推進賞〈議会部門〉を受賞することができました。

審査委員長の早稲田大学名誉教授・北川正恭氏は、公明党区議団を表彰した理由として「マニフェ

ストが区民の声を吸い上げた内容である点」を挙げられ、「優秀な地方議員の多い公明党が地方創生に向けた政策意思決定の過程を明らかにし、リードする中で、地方から国を変えていく図式ができることを期待したい」と述べられています。

公明党区議団の政策実現力が高いことの背景には、これまで築き上げてきた西川太一郎区長との信頼関係があります。本年も西川区政を支え、区民生活の向上のため全力で働いてまいります。



▲避難所開設・運営訓練の様子

## 日本共産党

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、朝鮮半島における南北首脳、米朝首脳の会談など、軍事的緊張から対話による平和の流れが大きく広がり、新たな展望が生まれました。一方、地震、豪雨、台風、酷暑など自然災害が猛威をふるいました。日本が災害列島であり、災害から住民の命と財産を守る政治本来の在り方も問われています。消費不況、貧困と格差の広がりの下、区政には、区民生活に寄り添い、暮らしと命を守る地方自治体本来の役割発揮が求められています。そのため、日本共産党荒川区議団は、新年度予算編成に向けて昨年要望書を提出…○待機児童ゼロへ保育園増設と質の確保○介護保険料引き下げ○ふろわり200の回数など拡大○多子世帯減免など国保料引き下げ○障害者施設の増設○学校

給食、教材の公費負担拡大○就学援助基準緩和○受動喫煙防止条例の制定○住宅耐震・不燃化など震災対策抜本拡充○住宅リフォーム助成○公契約条例の制定などの実現にがんばります。

新しい年「消費税10%増税ノー」「憲法9条守れ」の声を広げ、憲法が生かされ、だれもが大切にされる荒川区をめざし、ごいっしょに希望の持てる未来を切り拓くため力をつくします。



▲荒川区の障害者施設であるアクロスあらかわ

## 民主ゆいの会

新年のご挨拶を申し上げます。

一人ひとりが尊重され、多様性を認め、互いに支え合う社会を目指し、人と人、人と地域が結ばれることによって子どもから高齢者まで「癒しの場と活躍の場、そして輝けるまち荒川区」を目指し取り組んで参ります。民主ゆいの会の竹内あきひろ、清水ひろしは「荒川区に住んでいて良かったと実感できる区政」へ。本年も頑張っ参ります。



## 日本創新党

政府の移民政策は治安悪化、日本相対化に繋がり素晴らしいものを破壊します。その破壊を防ぐべく先頭に立ち戦います。地域社会の幸せの基礎を決して壊さぬ為に。縦糸を次世代に引継ぐ為に！



## 改革の会

明けましておめでとうございます。本年は、いよいよ輝かしい未来の出発点です。老若男女の皆様が元気で暮らせるようにあらゆる角度で取り組んでまいります。本年も宜しくお願い致します。

## 市民の会

瑞光祥春

市民の会荒川は、こどもが真ん中～年をとっても、障がいがあっても、幼子がいても楽しく暮らせる街づくりを目指します。ひとりひとりが輝く温かい街がいいですね！



# 議員の顔ぶれ

Ⓐ 幹事長 Ⓑ 副幹事長

## 自由民主党



Ⓐ 志村 博司



Ⓑ 小坂 眞三



Ⓑ 菅谷 元昭



町田 高



なかじま よしお  
中島 義夫



あけど まゆみ  
明戸 真弓美



もぎ ひろし  
茂木 弘



わかばやし しよこ  
若林 清子



はっとり としお  
服部 敏夫



なみき かずもと  
並木 一元



さいとう やすのり  
斎藤 泰紀



ほうじょう さだはる  
北城 貞治



とりがい ひでお  
鳥飼 秀夫



## 公明党



Ⓐ 菊地 秀信



Ⓑ ほさか まさひと  
保坂 正仁



もりもと たつお  
森本 達夫



まつだ ともこ  
松田 智子



よしだ えいこ  
吉田 詠子



なかむら ひさお  
中村 尚郎

## 日本共産党



Ⓐ よこやま こうじ  
横山 幸次



こばやし ゆきお  
小林 行男



あんべ きよこ  
安部 キヨ子



さいとう くにこ  
斉藤 邦子



こじま かずお  
小島 和男

## 民主ゆいの会



Ⓐ たけうち あきひろ  
竹内 明浩



Ⓑ しみず ひろし  
清水 啓史



## 日本創新党



Ⓐ こさか えいじ  
小坂 英二

## 改革の会



Ⓐ ふじさわ しこう  
藤澤 志光

## 市民の会



Ⓐ せの きよ  
瀬野 喜代

